自己評価公開資料(2019年度)

1.教育理念・目標

年次定例会においての現状確認

評価
B

2.学校運営

教職員の確保

必要に応じて、教職員の補充を実施。次年度ファッションビジネス科職員補充予定

評価
B

3.教育活動

各学科別シラバス履行

毎年、春と夏の長期休み期間に各担当による前期後期のシラバス作成、作成した資料に基づいて職員会議や模擬授業を行っている。
学科長を中心に、外部講師とも連携の上で必要なカリキュラムとその配分などを考慮。体系的な指導が行える体制作りを行っている。
各職種の経験者を中心にカリキュラムを作成、実践的な授業内容を行っている。これに加え、産学協同授業や研修先企業からの情報をフィードバックを行い毎年見直すことで、最新の現場状況に合致した教育を行っている。

評価
A

講演講習

産学合同授業や研修先の企業・人物と連携を図ることで、現場で求められる知識や技能、人格を確認。対応した知識や技術を持った学生を育成するべく、授業内容や設備の拡充を行っている。
現場で活躍している卒業生には、就職活動やキャリア形成の授業で講演を依頼し、体験談を踏まえた講演を行なっていただいている。

評価
A

校外見学

各授業ごとに必要に応じて、ブランドショップや商業施設へのリサーチ、職場見学等を行っている。
年間3000件を超えるインターンシップは当校の特徴にもなっており、学生のうちから現場を体験することは校内での授業と並び、学生の成長を引き出す経験になると考えている。参加する学生には、事前に研修担当者との面談を行うことで各種注意事項を伝達。
当日や研修後のフォローも研修担当講師を中心に行っている。

評価
A

4.学修成果

就職達成率

就職率向上のため、エントリーシートの作成から担任・就活担当によるサポートを行っている。ファッション業界は職種だけでなく、ブランドの系統、企業の特色なども学生の志望と一致しなければ早期退職につながるため、学生の志望を把握した上でのマッチングが必要と考えている。

評価
B

離脱率

現状、退学理由は経済的事情や進路の変更など、学校としての対応が難しい理由でのものが大半を占めている。

評価
B

履修達成状況

欠席日数の増加や補習の確定した授業など、問題の兆候が発生した学生本人だけでなく、保護者に対しても連絡を取るなど早めの対応を行っている。
ファッション業界内での進路変更に対応するため、転科制度を設けて既定の成績を収めた学生には、学内での転科を可能にし、履修達成に向けて支援している。

評価
A

学生公募成果

全国の高等学校への学校資料配布を始め、進学系ウェブサイトにて学校の情報と共に入学案内を掲載。
オープンキャンパスや学校見学などのイベントに参加した学生に対して、授業内容や就職率などを説明し、適切に行っているほか、在校生やイベントに参加した学生の関東近隣の高校へは高校訪問を行い、高校の進路担当の先生とも信頼関係を築いていくことで、入学者数の上昇へもつながっている。

評価
B

5.学生支援

就職支援

学内に就活室を設け、就活担当者が得た求人情報を随時掲載しているほか、インターネット上の就職支援サイトの閲覧、個別の指導・相談に対応できる体制を構築。また、就活室は常時開放しており、学生が自主的に求人情報を収集できるようにしている。

各学科ごとに就職指導担当者を配置し、職種ごとに応じたきめの細かい就職活動支援体制を整えている。
定期的に担任講師との面談を行うほか、学生からの要望があれば随時担任や各授業の講師が相談に乗っている。
卒業生がオープンキャンパスや就活の授業で来校する際、担当学科の講師と面談することで、実体験に基づいた授業内容の是非などを聞き取り、授業内容に反映している。

評価
B

離脱者支援

卒業後の活動状況についても元担任を中心に注視している。
卒業生の就職活動だけでなく、転職の相談等も含めて、元担任を中心に各講師が相談に乗る体制を整えている。
また、連携企業の追加求人があった場合は、未就職の卒業生を紹介している。

評価
B

キャリアアップ支援

3年専攻科への進学時に、1～2年次に優秀な成績を収めた学生の学費を免除する特待生制度を設けている。

評価
B

6.教育環境

機材器機の更新

縫製用のミシンやデザイン授業用のMac、ビジネスコース向けのWindows、パタンナーのCADソフトなど、各学科向けに必要な設備を整えている。これらは随時メンテナンスを行うほか、必要に応じて追加購入や入れ替えを行い、ファッション業界の現場で必要なスキルを磨ける、実践的な設備を整えている。

評価
A

校内美化修繕

清掃員3名にて毎日の校内清掃。
各教室は担当職員を決め、毎日最終チェック、修繕が必要な個所については都度報告を行っている。
長期休み期間中は、普段手の届かないところや修繕箇所をまとめて、美化・修繕につとめている。
学生が学校生活において、不自由のないよう心掛けている。

評価
A

7.学生の受け入れ募集

AO入試

面接試験を通して、本校が求める学生像「アドミッション・ポリシー」に基づいて合否を決める入試方法。
いち早くファッション業界に飛び込みたいという人たちの要望に応えるかたちで、特典として入学前に実践的な特別講座の実施、
AO面談を適切に行っている。エントリー期間：6/1～8/31、出願期間：8/1～9/30

評価
A

推薦入学

在籍中の高等学校または高等学校以上の教育機関を卒業見込みで、総合成績の評定平均が5段階評価で3.5以上の方対象。
志望動機、学校からの推薦書・調査書から総合的に判断して、適切な書類選考を行っている。特典として後期納入額から10万円を
免除（但し、前期の総合成績がクラス平均点以上かつ1科目の出席が前期授業日数の65%以上の者）
出願期間：10/1～10/31

評価
A

一般入学

高等学校卒業見込み者、高校既卒者、留学生など幅広く受け入れを行っている。（留学生は別途受入れ条件あり）
主に志望動機を重視して、適切に書類選考を行っている。
出願期間：10/1～3/31

評価
A

8.財務

資産合計

1,374,941,744（H24年度）

評価
C

負債合計

170,817,402(H29年度)

評価
C

売上高

215,365,692(H29年度)

評価
C

経営コスト

230,743,550(H29年度)

評価
D

9.法令等の遵守

職員就業環境

学内の就業規則に沿って、適切な就業を行っている。
昇進制度や賃金制度については、給与規定により定められている。
年に数回の研究研修機会と勉強会、海外研修を実施。教員の指導力向上を図る。また企業から講師を招いての講演や、
職員それぞれの知見と技能向上に各種職能団体の講習会、研修機会を義務づけサポートしている。

評価
B

10.社会貢献・地域貢献

地域文化活動

毎年秋に開催している学校イベント『ファッションWEEK』にて制作した洋服やアクセサリーなどの販売物の一部を、児童養護施設
『まつば園』に提供している。
また、近隣の小石川中等教育学校の職業体験の受け入れを毎年行っている。

評価
B

災害支援

在学生のご家族（学費負担者）が原則「災害救助法適用地域」に在住し被災された方に対して、被害状況に応じて経済的支援を行っている。
（学費免除または減免）

評価
A

11.国際交流

海外研修

年に一度、秋に海外研修旅行を実施。（希望者のみ）洋裁の本場であるヨーロッパやアメリカで、本場のファッションやビジネスに触れることで、国
内では決して行うことのできない感性を磨く効果が得られると考えている。

評価
B

留学生受け入れ

受け入れ可能な条件を設定しており、1.日本の高等学校以上にあたる教育課程を修了している方、2.日本語能力検定試験N2級以上合格、
または日本留学試験日本語科目200点以上、BJTビジネス日本語能力テスト400点以上を取得した方、または同等の日本語能力があると認めた方。出願後
に当校独自の日本語試験と面談も実施しており、勉学意欲、経費支弁能力等総合的に判断し、適切な受入れを行っている。

評価
B